

とのまるくん  
(殿ダムイメージキャラクター)

因幡のくにの夢づくり

# とのまる通信

第10号  
2002・12・1

発行：国土交通省中国地方整備局 殿ダム工事事務所 鳥取県岩美郡国府町宮下1221 TEL)0857-29-9570 FAX)0857-29-9612 http://www.cgr.mlit.go.jp/tono/index.html

## 殿ダムは「吉野そば」のそば

日本の食文化の一つである「そば」。

日本各地にこだわりのそば屋があるが、

国府町にもそんなそば処がある。

え？国府町のどこに？と知らない人も多いはず。

それもそのはず。

ここは、宣伝や広告は一切しない上、

日曜日のみ営業なのだ。

しかし、その味には定評があり、

京阪神からわざわざ食べに来られる人もいるほど。

今回は、知る人ぞ知る、

吉野そばの魅力を探ってみました。

これ、  
ぼくが打ったそば！  
いただきます～す！



そば打ち体験に初挑戦した、小林正紘くん



稲の黄色とのコントラストが美しい9月上旬の吉野のそば畑。

## “吉野そば”はのぼりが目印

県道鳥取国府岩美線沿いの国府町役場を過ぎ、殿ダム建設予定地の方へ車を走らせると、薬師橋の手前の川向こうに、“吉野”と屋根瓦にかかっている建物がある。何をする所かな？と、常々思っていたが…。日曜日、その周辺を通ってみると、平日には見かけない“吉野そば”というのぼりが吉野橋からその建物に向かってはためている。中に入ってみると、明るく広々とした20畳程の畳の部屋に、テーブル

が並べられている。お客さんはまばら。テーブルの上にはメニューもなく商売気が全く感

## そばを核とした地域づくり



天ざるそばは、このボリュームで、なんと1,000円！

この吉野そば、宣伝も広告も一切していないが、おいしさが口コミで広がり、毎週平均20名のお客さん

が来られる。中には京阪神から、吉野そばを食べに来られる常連さんもあるほど！こんなに人を引き付けるそばを打つ“吉野そばの会”は、いったいつ頃でき、どんな会なのか、会の世話役、小谷忠巳氏に伺った。

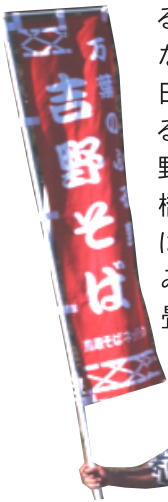
「平成4、5年頃に、“キラッと輝く村づくり推進事業”という地域活性の支援事業があり、吉野集落でもみんなが寄れる場をこしらえよう！という事になったんです。そこで、何しようか、と考えていた折り、とあるイベントに集落で参加して、集落で以前より食べていたそばを出したところ、けっこういい評判だったもので、



屋根にある“吉野”の文字が特徴のそばの館。



刈り取り作業中、時々機械にそばの茎がからみつき、作業が中断される。



宣伝は一切しないため、唯一宣伝効果が期待されるのぼり。



そばを核とした地域づくりをしよう！という事になったんです。

それから、役場の人や仲間と共に有名所のそば打ちを視察しに行き、そば打ち技術を教わったり、道具の買い付けや、つけ汁の研究など…開店までの下準備をしてきました。



そば打ち作業

また、平成11年から“うるおいのある村づくり対策事業”という県の支援事業も受けられる事となり、そば刈り機や石抜き機、

脱皮機などの機械を購入しました。そして平成12年には、そば打ち体験施設であるこの“吉野そばの館”が完成したという訳です。

現在、吉野集落25世帯ある中の、23人と、地区外1名の合計24人が会員となり、運営しています。」

## 吉野そばのこだわり

**こだわりその1**  
**水** 吉野そばでは、打ち水とだし汁に、扇ノ山の伏流水である因伯の名水を使用している。この因伯の名水は、雨滝から河合谷高原へ向かう林道の山頂付近に水くみ場があり、吉野集落から車で片道約50分かかる。冬場は、積雪が多い所のため、水くみは重労働。しかし、おいしいそばを作るため、定期的にくみにいき、冷蔵庫で保存しながら使っている。



標高約900m付近にある水くみ場。11月中旬、すでに道には雪があり、霧がたちこめ身がこえるほどの寒さだ。

**こだわりその2**  
**粉** そば粉は100%自家製。国府町内にある約3ヘクタールの畑でそばを栽培しており、10月下旬～11月上旬頃、4～5日かけてそばを刈り取る。刈り取った後は、乾燥し、石抜き、脱皮、粉ひきという作業を行うが、この一連の作業も会員みんなで行なう。



天ぷらやその他の1品を、和気あいあいと手作りするお母さんたち。

**こだわりその3**  
**一品** 吉野そばのメニューは、ざると天ざるの2種。その天ぷらは、カボチャやさつま芋など、会員の方が作った自家製野菜でボリューム満天！時には山菜やユキノシタなど、裏山で採れた旬の物が添えられる事も！また、「田舎だけえ、こんなもんしかないけど、食べてってえ〜」と、そば以外にもう1品、手作り豆腐やコンニャク、季節の野菜などを調理した品物などがサービスでつく。「田舎料理を堪能してもらおうで！」という会員のこだわりがこの1品にこめられている。



この会員のこだわりがこの1品にこめられている。



刈り取り後、乾燥したそばの実を、唐箕(もみがらやごみを吹きかける農具)にかけている様子。

も体験可能！会のおじさんが、親切にアドバイスしてくれたり、時には手をかしてくるので、初心者でもおいしいそばを打つ事ができる。

家族でそば打ち体験をしに来ていた鳥取市内在住の小林香代子さんは、「5歳の子供には、無理だろうなど、不安に思っていました。親切にご指導くださったので、楽しくできました。また、子供なりに、自分で作ったという実感があったためか、できあがったそばをおいしそうに、たくさん食べていたので、また来て体験したいです！」とおっしゃっていた。



会のおじさんのご指導のもと、そば打ち体験をした小林香代子さんと、息子さんの正紘君。

素朴でおいしい田舎料理と、ふる里に帰ったかのように温かく迎えてくれる会員の方々。吉野そばの魅力は、味だけでは語れず、ここに来てからわかるようだ。

年越しそばのシーズンも間近！12月上旬から新そばも食べられます！一度吉野そばの館に来てみませんか！そして、目と鼻の先にある殿ダム建設の今の様子も見に来てください。

## 楽しいそば打ち体験！

この吉野そばの館では親子会や各種団体が、そば打ち体験の場として利用している。もちろん少人数で

- 営業日：毎週日曜日
- 営業時間：午前10時～午後3時まで
- お問い合わせ先：0857-58-0214(日曜日)  
平日は国府町企画開発課：0857-39-0567
- ※そば打ち体験希望の方は事前に御連絡ください。

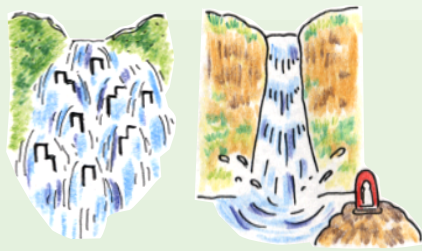
場所は、次ページのマップを見てね！

# 殿ダムはあなたのそばで造っています！

殿ダム建設予定地は、鳥取市内(JR鳥取駅)から車で約30分走った国府町の中山間地にあります。

国府町内では、吉野そばや万葉の館の薬膳料理など、昔ながらの料理を食べる事ができ、袋川上流には因伯の名水も湧いています。また、新たなスポットとして、旧成器小学校の木造校舎内の一部が談話室となり、素朴で温かい休憩所もオープン！

ちょっとそこまでの感覚で、殿ダム周辺にも足を伸ばしてみませんか！



日本の滝百選に選ばれた「雨滝」(右)と、息を飲む美しさの「菅滝」(左)。



旧成器小学校の校舎で、コーヒーブレイク&絵手紙制作ができます！詳しくは、裏面「殿ダムニュース」を読んでね！



宇倍神社は毎年、鳥取県東部で初詣の出入No.1！

**殿ダム**  
(完成イメージ図)



毎週日曜日のみ営業。そば打ち体験有り！



国府町に2箇所ある「水辺の楽校」。年間を通じ、比較的安全に川に接する事ができます。また夏場、子供の水遊びの場としては絶好のスポットです！



万葉の館では、クコやマツの実など使った薬膳料理が食べられます！また、売店ではとのまる通信第3号と第9号で紹介した、楠城のワサビアイスや神護のアマ茶などが購入できます！



**あら近い！**

JR鳥取駅から

- 吉野そばの館まで車で約**25**分(約12Km)
- 殿ダム建設予定地まで車で約**30**分(約14Km)

市内から以外と近い殿ダム建設予定地。一度立ち寄ってみてください。







旧成器小学校



活用方法

1

### 殿ダム建設の拠点に！

現在、付け替え県道のトンネル工事を行っている大本組が、現場事務所として利用しています。

また、12月に入ってからは、殿ダム工事事務所の監督員詰め所として利用させていただきます。ここでは、工事現場を監督する職員が、施工業者と打ち合わせをしたり、工事を監督するための書類を整理したりします。

現場についての問い合わせも受け付けますので、お気軽にお立ち寄りください。

活用方法

2

### 画家福田典高さんの指導で、絵手紙制作を体験！

成器小学校の卒業生である福田典高さん。「自分にできる事で、地域活性を！」と、校長室にご自分のアトリエを構え、絵画制作及び展示をされています。またその傍らで、希望者には絵の指導もされています。今人気の絵手紙は、半日程度で制作可能！(材料費込み500円)。あなたも体験してみたいですか？(月曜日休み。お問い合わせ携帯：090-1657-9065)

活用方法

3

### 教室を談話室に！



以前生徒たちが使用していた小さな机とイス。そして教室にはたくさんの本とらぐがき帳…。このなつかしさ漂う教室が、地元のボランティアの方々の手により、談話室へと変身！一般の人が気軽に利用でき、コーヒー＆紅茶、お抹茶も飲めるそうです。ぜひ一度お立ち寄りください！

(11時～17時まで。休み：毎週月曜日)

殿ダム建設に伴う

移転者ご家族の今を紹介するコーナー

### 今回の元気がいな！

さとし  
太田 恵さん



▲拾石にお住まいだった頃の冬の様子。  
◀新居、門の前に立つ太田恵さん。

殿ダム建設により、家と田んぼ、そして山の一部が移転対象となり、平成12年1月に、拾石から国府町玉鉾に移転された太田恵さん。

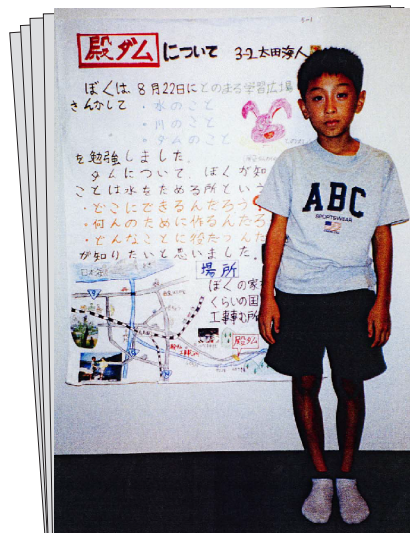
「玉鉾に親戚があり、以前からこの地区に出入りしとったもんで、移転に際して案じた事はなかったです。」と語られる太田さん。

太田さんといえば…以前お住まいの家は築約150年ほど経っている平家(茅葺き屋根にトタンをかぶせた屋根)で、冬場、屋根から落ちた雪が家を包み込み、家から外に出るのにご苦労されていた姿が思い出される。

「ここは、以前のように雪に対しての苦労はないですが、風がものすごく強うてね…。まっ、しかしながら、公共施設は間近にあるし、交通の便もいい。どこに行っても、いい所も悪い所もありますわいな。」と語られた。

お便り紹介

### 「殿ダムについて」自由研究した太田海人君「研究奨励賞」受賞！



自由研究の前に立つ太田海人君。

鳥大附属小学校3年生の太田海人君は、8月22日、殿ダム工事事務所で行った「とのまる学習広場」で、水の大切さやダムの役割などを学んだ事を受け、自由研究としてまとめられました。それがこの度、鳥取市小学校教育研究会社会部の「研究奨励賞」に輝きました！

この自由研究は、模造紙5枚の大作！職員一同感心しました！

お便りお待ちしております！

お問い合わせ＆お便りの宛先

国土交通省 殿ダム工事事務所

とのまる通信編集部 宛

〒680-0151 鳥取県岩美郡国府町宮下1221

TEL)0857-29-9570 FAX)0857-29-9612

http://www.cgr.mlit.go.jp/tono/index.html

